

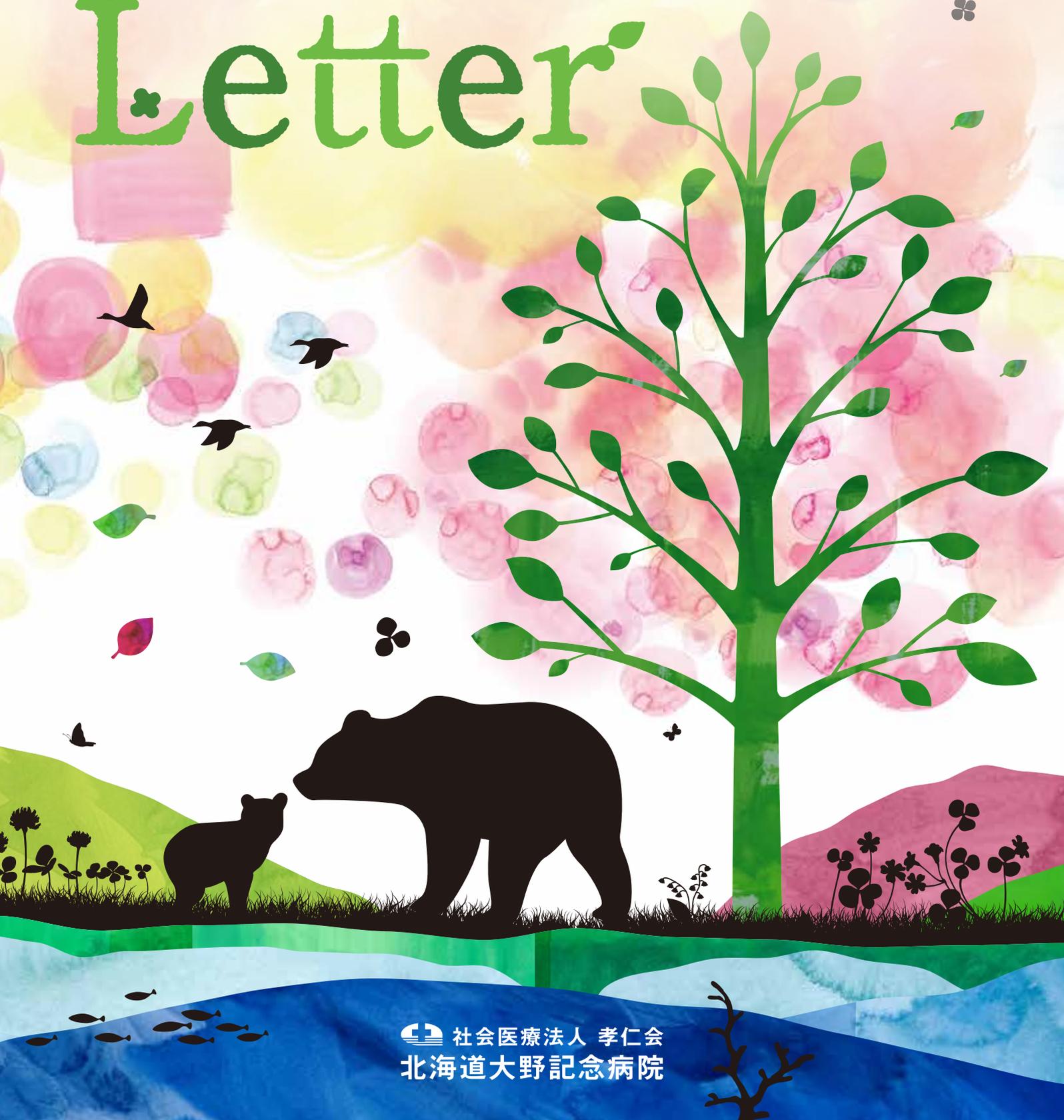
2020 / vol.14

CONTENTS

- 北海道大野記念病院における
低侵襲脳神経外科治療
- 医師着任のごあいさつ

N News Letter

医療機関向け広報誌



ごあいさつ



社会医療法人孝仁会
北海道大野記念病院 院長

大川 洋平 Youhei Ohkawa

全世界中で新型コロナウイルス感染症の蔓延が進行する中、2020年の新年度が始まりました。4月1日現在、日本においては何とか持ちこたえている状況ですが、この広報誌が発行されている頃はどんな状況になっているかは皆目見当が付きません。悲惨な状況になっていないことを願うばかりであります。

さて、2016年10月に開院した当院は、早いもので今年で5年目に突入となります。日々、地域における急性期医療を担う基幹病院として微力ながら貢献させて頂いております。これもひとえに皆様の温かいご支援、ご指導があったからと感謝いたしております。

今後も当院の理念である「患者様が安心してかかれる、患者様を安心して預けられる病院」を目指し、患者様を第一に考えた医療を提供していきたいと思っております。

また、当院の高機能医療機器を最大限に活用し、患者様に優しく、より安全で、低侵襲な医療を選択すると共に、地域の救急医療にも貢献できるよう努力してまいります。

がん、脳卒中、心臓病の三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期病院としての、地域から期待され担うべき役割、医療機能を発揮し、かつ、最先端医療機器を用いた高度健診事業を行い、地域から信頼される病院を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。

どうか今後も皆様の変わらぬご支援の程を何卒、宜しくお願い申し上げます。



社会医療法人孝仁会
北海道大野記念病院 副院長 兼 看護部長

萩原 直美 Naomi Hagiwara

はじめまして。2020年4月1日に着任いたしました、副院長兼看護部長の萩原直美（はぎわらなおみ）です。どうぞよろしくお願いいたします。

経歴は、札幌医科大学附属病院に新人で入職し、北海道立旭川高等看護学院講師、北海道庁の道立病院管理室へ異動を経て、7年間、副院長兼看護部長として、質の高い安全な医療・看護の提供を目指して取り組んで参りました。セカンドキャリアとして地域医療・看護へ何か貢献できないか考え、当院にたどり着いた次第です。

病院の理念である「患者さんが安心してかかれる、患者さんを安心して預けられる病院を目指します」とあり、常に患者さん目線で考える医療・看護を提供することをここで働く皆さんと実現したいと考えています。そして、主に西区地域の住民から愛され信頼される病院として、特に救急には力を入れ断らない救急体制の強化と急性期医療の質の向上、地域連携を推進することが重要だと考えています。

職員には、組織の一員としての自覚を持ち、専門職能を磨くために自己研鑽し、多職種でなるチーム医療や地域連携において責任や役割を果たすよう努めて欲しいと思っております。

着任したばかりで右往左往しておりますが、職員が安心して働き続けられる職場作りにも力を入れていきたいと考えており、看護部長室の扉はいつも開けております。皆様のご支援、宜しくお願い申し上げます。



脳神経外科 医師

高平 一樹
Kazuki Takahira

北海道大野記念病院における 低侵襲脳神経外科治療

脳神経外科 脳血管内治療センター長
統括診療部長

片岡 丈人 Taketo Kataoka

※硬膜動静脈瘻(d-AVF)に対するコイル塞栓術実施風景

全ての医療分野で、急速な進歩が認められていると思います。
脳神経外科領域でも、画像診断装置と治療装置の融合により、様々な進歩が認められています。

北海道大野記念病院では、開院時に最新医療機器が導入され、以下の低侵襲治療が行われております。

- ①脳血管内治療
- ②術中MRI、術中ナビゲーション
- ③片側顔面痙攣、三叉神経痛に対する神経減圧術(MVD)
- ④本態性振戦に対する収束超音波治療(FUS)

①脳血管内治療

バイプレーンDSA室は、救急外来に近接し、可動式CT、麻酔器が常設されています。
最新の脳血管撮影装置とソフトウェアによって、リアルタイムにシミュレーションが可能です。
以下の治療を24時間体制で実施することが可能です。

- a)心原性脳塞栓症に対する機械的血栓回収療法
心原性脳塞栓は重症な脳卒中の一つで、短時間で閉塞血管を再開通させることが重要です。
- b)くも膜下出血に対する、脳動脈瘤塞栓術
当院では破裂脳動脈瘤の約80%が、脳血管内治療を受けています。
- c)頸動脈狭窄症に対するステント留置術
急性期の症例に対しても、実施可能です。
- d)硬膜動静脈瘻、脳動静脈奇形に対するONYXを使用した塞栓術
液体塞栓物質による塞栓術が保険収載され、治療は大きく進歩しました。

②術中MRI(3T)、術中ナビゲーション

術中MRIとは、手術中に術野を開いたまま、MRIを実施する方法です。脳腫瘍などで、機能的に重要な部分の手術では特に有用性が発揮されます。術中ナビゲーションは、MRI・CTの3D画像データを用いて現在の治療部位が何処かであるか、リアルタイムに提示可能です。脳外科手術では、安全なルートから病変に到達することが重要で、この術中ナビゲーションと術中MRIが手術の安全性を向上させます。

③片側顔面痙攣、三叉神経痛に対する神経減圧術(MVD)

顔面神経や三叉神経に、脳血管が接触し神経の興奮を引き起こすことによって、顔面の痙攣や激痛を引き起こします。外科手術によって、脳神経と血管の接触を解除することによって、症状を改善します。神経の接触部位は脳幹近くの深部にありますが、耳介後方に開けた、小さな穴から、手術用顕微鏡を使用して行います。手術用顕微鏡も進歩を遂げており、様々な機能が追加されています。

④本態性振戦に対する収束超音波治療(FUS)

本態性振戦に対する外科治療として、電極を脳に直接刺して電氣的に凝固する方法や、刺激装置の埋め込みが行われています。一方FUSは体外から超音波エネルギーを目的部位に収束させることで脳の特定位を加熱し治療する方法です。MRIとFUSが組み合わさっていて、脳の特定位を狂いなく加熱可能で、温度の検出も可能です。FUSが導入され、皮膚切開を行わずに本態性振戦を治療することが可能となっており、他疾患への応用も期待されています。

このように、当院では、様々な低侵襲治療を実施していますが、今後も、安全で低侵襲な治療を拡大して参ります。(片岡丈人 記)

医師着任のごあいさつ (2020年4月～)



形成外科 医長

中川 嗣文
Tsugufumi Nakagawa

4月1日着任

外来診療：水曜午前、木曜午後
(札幌西孝仁会クリニック外来診療：火曜午前)

2020年4月より北海道大野記念病院形成外科に着任した中川です。このたびご縁に恵まれ、当院で勤務することになりました。

形成外科、といってもなかなかピンとくる方は少ないかもしれません。外科の一分野ではありますが、特定の専門臓器を持たず、体表面の形態異常を取り扱う診療科です。

主に顔面など目立つ部位の外傷をできる限り綺麗に縫合して治す、あるいはがんなどの切除にて失われてしまった組織を他の組織を持ってきて再建する、といったことが代表的な仕事です。目立つほくろなどの良性腫瘍や、皮膚がんの切除に伴う再建も行ってきました。

自動車のメンテナンスに例えると板金塗装に近いイメージです。ドアやボンネットがへこんでいても車は走りますが、やっぱり外装が綺麗だと気持ちがいいですね。

個人的に最も得意とするところは顔面外傷です。新鮮例だけでなく、昔のケガなどにより残った変形、傷痕に対しても整容的改善のためお力になれることがあると思います。

また、形成外科は創傷治療のスペシャリストでもあります。手術以外の軟膏治療など、きずの状態に合わせた様々な治療法のご提案も可能です。治りにくいきずでお困りの際にはご相談ください。皆様にとってお役に立てるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科 医師

小野寺 慧洲
Keishu Onodera

4月1日着任

今年度より北海道大野記念病院麻酔科に着任した小野寺です。このたびご縁があって当院で勤務することになりました。

麻酔科は主に手術の時に関わる科になるため、あまり馴染みのない科のひとつかも知れません。簡単に申し上げると、手術という大きな侵襲から皆様の体を守る、というのが仕事になります。手術に伴う痛みと不安を緩和し安全に手術を行える手助けをするものと考えて頂ければと思います。

現在の麻酔は安全性の高いものになっておりますが、時には予測し得ない合併症が起こることもあります。できるだけその危険を減らすために、私たち麻酔科医は麻酔管理と治療に最善を尽くしていく所存です。

地域の皆様の健康に貢献できるよう精進していきますので、宜しくお願い申し上げます。



消化器内科 医師

平池 則雄
Norio Hiraike

4月20日着任

外来診療：月曜午後、木曜午前

皆さん、こんにちは。私は、平池則雄と申します。旭川医大を卒業した後札幌医大第1外科に入局し、外科の助手を勤めた後、救急集中治療部のICUの勤務も経験があります。その後、外部の私立病院に移り、56歳まで消化器外科医として勤務しました。

体力的な問題が気になり、消化器内科医として再出発しました。内視鏡は、昭和58年から上下部消化管内視鏡やERCPなどを行ってきておりますが、内科医としては新米です。

学位は生化学で取得しました。外科医であり、生化学で学位を取る人は少ないので外科医の中では変わり種です。体力的な問題を抜きにすれば、消化器・甲状腺・乳腺の手術・肝の血管造影・CVカテーテルの挿入・ICU管理などが可能です。

私の趣味は、フルート演奏です。中学2年生から48年ほどのキャリアがあります。年に数回、演奏の機会がありますが、今年はコロナウィルスの影響で2月2日に北大博物館での演奏会以来、演奏機会がありません。北大博物館の演奏会では、初めて妻の朗読との共演で、楽しい機会をいただきました。機会があれば、当院でも演奏会を企画したいと思います。

どんなことでも興味ありますので、これからも是非よろしくお願いいたします。



感染対策への取り組み

医療安全管理部 感染管理担当 課長
(感染管理認定看護師)

塩谷 光彦 Mitsuhiko Shioya

北海道大野記念病院、医療安全管理部の看護師、塩谷光彦と申します。
当院で感染管理の業務を行なっております。

2020年の幕開けと同時に始まった新型コロナウイルス感染症との闘いに、どの医療機関も苦慮されていることと思います。今、この原稿を書いているのは4月11日です。
4月7日に7都府県に出された「緊急事態宣言」の真っ只中です。
緊急事態宣言の対象地域にはなっておりませんが、当院が所在する札幌市でも4月7日頃から再流行の兆しがみえはじめています。

今回は、ご存じのことも多いかと思いますが、新型コロナウイルス感染症に罹らないための予防方法について書かせていただきます。

私が考える予防方法は、①手洗い、②正しいマスクの着用の2つです。
手指衛生の重要性は皆様重々ご理解されていると思います。方法についても様々なリソースより出ています。私が紹介いたしますのは、手荒れを起こさないための方法です。

まず1点目は「石けん成分はしっかりとすすぐ」です。
石けん成分が残っているとそれが皮膚への刺激となり手荒れを引き起こす可能性があります。

2点目は「手を拭くときに擦らず、押し拭きをする」です。
擦った時の摩擦により皮膚を傷害し、手荒れを引き起こす可能性があります。手荒れを起こしてしまうと手洗いをする機会が遠のいてしまうということがあります。十分に手荒れへの注意をお願いいたします。

正しいマスクの着用についても手洗いと同様に重々ご理解されていると思います。
私が紹介いたしますのは、マスクの表裏についてです。

医療用マスクには表（外側）、裏（内側）があります。見分け方としましては、マスクのプリーツ（しわ）が下側を向いているのが外側になります。全てのマスクに該当する基準ではございませんが、多くがこのようになっておりますので、着用前に今一度ご確認くださいと思います。

マスク着用の効果につきましては、日本環境感染学会の「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第2版改訂版（ver.2.1）」の医療従事者の曝露のリスク評価と対応によると患者と医療従事者の双方がマスクを着用していた場合の曝露リスクは低リスクですが、共にマスクを着用していない場合の曝露リスクは高リスクとなっています。

特に咳などの症状がある方と接する場合には、相手にもマスクを着用してもらうことが大切です。そして着用時は鼻から顎までしっかりと覆い、万が一、相手の飛沫を浴びてしまった場合にもマスクによって守られている面積を広くすることも大切です。

今回は以上となります。予防方法を実践する際には、漫然と行なうのではなく、より効果が高いと思われる方法を実践し、新型コロナウイルス感染症を撃退していただければと思います。

STOP ! COVID-19 !

お知らせ

■ 医師退職

3月	消化器外科	川崎 仁司 (主任診療部長 兼 消化器センター長)
	整形外科	入船 秀仁 (主任医長)
	脳神経外科	大坂 美鈴 (医長)
	放射線治療科	竹山 晃史
	放射線治療科	粟屋 梓
	麻酔科	伊藤 智樹
5月	放射線治療科	喜多 望海

■ 外来診療

4月1日～ 新たに「**形成外科**」の診療を開始しました。(医師：中川 嗣文)

<診療内容>

顔面、体表面の外傷(きりきず、すりきず、やけどなど体表面の外傷)
 皮膚・皮下組織の腫瘍(ほくろ、粉瘤、脂肪腫などのありふれた良性のものから皮膚癌など悪性のものまで)
 顔面骨折・頭蓋顎顔面外科(骨折に伴う顔面の変形や、かみ合わせの異常など)
 治りにくい傷の治療、きずあと、ケロイド、瘢痕拘縮(ひきつれ)、眼瞼下垂、腋臭症(わきが)、陥入爪等

4月20日～ 「**消化器内科**」の月曜午後・木曜午前の診療を開始しました。(医師：平池 則雄)

6月1日～ 「**デバイス外来**」(金曜午後14:00～)の診察開始時間が13:30～へ変更となります。

※詳細は、[外来担当医表](#)をご覧ください。

■ その他

- ・当院は、日本脳卒中学会一次脳卒中センターの施設として認定されました。
- ・循環器内科 三浦 史郎医師が、院長 大川 洋平医師、副院長 山下 武廣医師と共著で発表した論文が「Journal of Nuclear Cardiology」誌に掲載されました。
- ・循環器内科 三浦 史郎医師と呉林 英悟医師が発表した論文が「Journal of Nuclear Cardiology」誌に掲載されました。

※論文は、[当院HP「病院からのお知らせ」](#)よりご覧いただけます。

患者様のご紹介は診療情報提供書を
医療連携相談部へFAXにてお送りください。

FAX直通番号

011-665-0123

Vol.14 2020年5月発行

北海道大野記念病院 News Letter

発行者 社会医療法人孝仁会
 北海道大野記念病院 医療連携相談部
 〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号
 TEL **011-665-0020**(代)
 FAX **011-665-0242**

<http://ohno-kinen.jp> 北海道大野記念病院 [検索](#)

【バス】
JR北海道バスまたは北海道中央バス「西町北20丁目」下車、徒歩約2分

【地下鉄】
東西線「宮の沢」駅5番出口から徒歩約6分(地下道は「ちえりあ」まで直結)

周辺マップ